



2015年3月吉日  
杉原プロジェクト実行委員会

## 「一生歩けない」と宣告された大学生が、“自分の脚で” 奇跡の富士登山に挑戦！ 脊髄損傷者のチャレンジを応援するプロジェクトが本格始動

～ “バリアフル” な道を登りきるための応援を大募集！～



脊髄損傷を乗り越え、今夏、日本一の山・富士山登頂へー！

高校ラグビー部の試合で重度脊髄損傷を受傷し、医師からは「一生歩けない」と宣告された大学生・杉原紘人さん（すぎはら・ひろと、東京都世田谷区在住、20歳）が、全ての脊髄損傷者とその家族や仲間、「不可能はない」ことを伝えるため、全身に障害が残る身体を鍛え上げ、前人未到の“自力富士登山”に挑戦します。本人はもちろん、脊髄損傷者の登山トレーニングを支えるチームにとっても未知との闘いとなる本取り組みに、さらなる勇気と力を授けてくださる応援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。（詳細別紙参照）

### ■脊髄損傷とは：脳と体をつなぐ中枢神経である脊髄が損傷を受けた病態。脳からの情報が正確に伝わらなくなる。

脊髄損傷になると、受傷部以下の運動機能・知覚機能・自律神経機能（排尿・排便、呼吸、血圧調整、発汗、生殖など）に障害が出ます。出方は損傷の部位と程度で大きく変わりますが、損傷部位が脳に近いほど麻痺部位が広範囲になります。杉原さんは当初、上肢や下肢に多少の動きはあったものの、全身に麻痺があり、サポートのもとでやっと立位がとれる程度でした。

### ■脊髄損傷者の現状：障害を抱える脊髄損傷者は国内に10万人以上。根本的な治療は未だ確立されていない。

脊髄損傷で身体障害を抱える人は、国内に10万人以上いるとされ、さらに毎年5,000人程度が、交通事故やスポーツ中の事故、転落、近年では高齢者の転倒などにより受傷しています。現在の医療では、重度脊髄損傷者が再び立ち上がり、自分の脚で歩けるようになる治療法は確立されていません。杉原さんも、「一生車椅子」と宣告されたうちの一人でした。

### ■杉原さんが夢の“再歩行”を実現し、車椅子を卒業できた理由：強靱な意志と、それを支える専門トレーニング施設。

もしも明日、あなたやあなたの大切な人がこのような状況に陥ったらどうするでしょうか？杉原さんやご家族はベストを尽くそうと、自ら医療機関を探し、さらに退院後には、脊髄損傷者の再歩行を最終目標に長期トレーニングを提供する民間施設へ通うことを決めました。車椅子テニスの国枝慎吾選手やオリックス・パファローズの伊藤光選手も通った同施設でのトレーニングは決して楽とは言えませんが、杉原さんは持ち前の負けん気で週3回各2時間の集中メニューをこなし、さらに自宅で自主トレを行い、約1年弱という短期間で、杖で歩行できるまでの驚異的な回復を遂げました。現在、走る、ジャンプなどさらなる身体の回復を目指しトレーニングを行っています。

## ■希望をもらう立場から届ける立場へ：富士山登頂という、さらなる“不可能”に挑む。

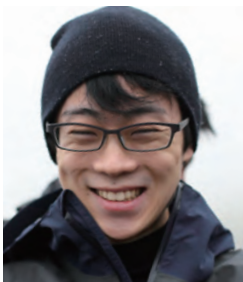
車椅子生活中的杉原さんに希望を与えたのは、同じラグビーでの受傷から、“走れる”までの回復を果たした男性の姿。「だから今度は、彼以上の“不可能”を成し遂げ、同じ障害で悩み苦しむ人たちに希望を届けたい」。自然とそう考え始めた杉原さんは、脚力はもちろん体幹の筋力や持久力など全身の力を必要とする登山、せつかくならば日本一高い富士山登頂を達成したい！と思い描くようになりました。

## ■一人の挑戦を、みんなの挑戦に：杉原さんの決意に賛同するチームが、組織の壁を越えて誕生。

杉原さんから挑戦の決意を聞いた民間施設「J-Workout」は、自社にとっても未知のチャレンジである“脊髄損傷者の登山トレーニング”を全面的にバックアップすることにし、安全かつ効果的なサポートを提供できるよう、看護師を含む4名で社内チームを立ち上げました。また、挑戦に賛同する計4つの企業・団体が「杉原プロジェクト実行委員会」を結成、今夏の本番に向け、トレーニングマシンやマンパワーの提供などそれぞれの資産を活かしたサポートと、一人でも多くの方に本プロジェクトを知っていただくための広報活動を展開していきます。さらに今後、医師や山岳ガイドといった専門家にも、サポートに加わっていただける予定です。一般の方からの応援メッセージや企業様からの物品ご提供などの支援も別紙の通り常時募集していますので、ご周知のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

### <杉原さんの決意表明>

今までたくさんの人に支えられてここまで歩けるようになりました。だから僕は富士山に登る姿を見もらうことでその人たちに感謝の気持ちを伝えるために、そして他の脊髄損傷の人たちの希望になるために、必ず頂上にたどり着きたいと思います！



#### 【Profile】

1994年12月29日生まれ。東京都世田谷区在住。成城大学1年生。2011年1月8日、高校1年生の時にラグビーの試合中の事故により、頸椎5・6番を損傷。四肢麻痺となり、車椅子生活を余儀なくされる。2011年5月より脊髄損傷者専門トレーニングジム「J-Workout」で週2回のトレーニングを開始、約1年弱で杖で日常生活を送れるまでの回復を遂げる。富士山登頂以外の新たな目標は、走ること。

## 【プロジェクトに賛同いただいたアスリートからの応援メッセージ】



<アトランタ五輪体操日本代表を務めた田中光さんからの応援メッセージ>

「もう歩けない」と言われた方がここまで勇気を持って頑張れることは、周りのサポートがご自身の大きな力になっていることと思います。またご本人も、大変な努力家だと思われます。人間の器は調子が良い時ではなく、何かあったときに試されます。私も彼のチャレンジを知って、もっと頑張らないと、と思いました。全面的に応援しています。頑張ってください！

## <プロジェクト概要>

プロジェクト名	脊髄損傷者による富士登頂チャレンジ「杉原プロジェクト」 【特設サイト】 <a href="http://sugiharaproject.businesscatalyst.com">http://sugiharaproject.businesscatalyst.com</a> *facebook 応援ページ“杉原プロジェクト”
挑戦者	杉原紘人（すぎはらひろと）
挑戦内容	吉田ルート 5 合目から登山開始（予定）。頸髄損傷により、手首に力が入りにくく握力が弱いので、ロフトランドクラッチという前腕部とグリップ部分で体重を支える事が出来る杖を使用します。そちらを使い、過酷な砂利道や岩場を登って頂上を目指していきます。
実施時期・行程（予定）	8 月下旬～9 月上旬で 3 泊 4 日 ※前日 5 合目宿泊 ・1 日目 - 8 合目宿泊 ・2 日目 - 登頂→8 合目宿泊 ・3 日目 - 下山 ※後日報告会を開催予定
本番に向けたトレーニングのポイントと頻度	股関節・足関節屈曲、下肢の関節の連動性、下肢の筋持久力、体幹部のバランス、手の握力の強化 J-Workout で週 3 回 ×2 時間 自宅にて Power Plate で下肢のトレーニング
テスト登山スケジュール	※2014 年度に 3 回、テスト登山実施済み。 ■4 月初旬 高尾山（表参道ルート）今年初の登山 全長 3.8 キロ ■5 月中旬～下旬 大山（女坂・見晴台コース）標高が高尾山の倍以上、足場が悪く、勾配の厳しい道 全長 8.5km ■6 月 御岳山（100 段以上の階段がある、足場の悪いトレッキングコース）全長 8 キロ ■7 月 雲取山（三峯神社コース）富士山本番前に、1 泊 2 日かけて登山挑戦。東京都で最高峰（標高 2,017m）。全長 9.5km
運営	杉原プロジェクト実行委員会
協力	こころのバリアフリー & ビューティーマガジン「Co-CoLife」 * フライヤー配布協力

## <応援募集内容>

### ■一般の方

- ・特設 facebook ページ（杉原プロジェクトで検索）に「いいね！」
- ・特設ウェブサイト（<http://sugiharaproject.businesscatalyst.com>）より応援メッセージを送信！
- ・特設ウェブサイトより、チャリティ T シャツを購入！

### ■企業・団体の方

ご協力いただける場合には、特設ウェブサイトに企業・団体のロゴマークを掲載させていただきます。

- ・登山用ウェアやリュックなど、登山用装備のご提供
- ・登山やトレーニング用の飲料やエナジーフードのご提供
- ・プロジェクトのフライヤー設置スペースのご提供 など

### ■お問い合わせ先

杉原プロジェクト実行委員会 事務局 山本（ジェイ・ワークアウト株式会社内）

TEL 03-5809-9390 MAIL : fuji@j-workout.com

<各実行委員と役割> ※上段が組織紹介、下段が今回の役割。

ジェイ・ワークアウト 株式会社 (東京都江東区)	歩行機能の再獲得を最終目標に掲げる日本初の脊髄損傷者専門トレーニングジムを展開。日本全国、2歳～80歳まで、300名のクライアントさまをサポートしています。杉原さんをはじめとする確かな実績が評判を呼び、2015年8月には初の大阪出店を予定。 今回のプロジェクトをきっかけに、脊髄損傷者の再起や新たなチャレンジを応援する社内プロジェクト『SCI Challenge』（サイ・チャレンジ、Spinal Cord Injury=脊髄損傷）を立ち上げました。今後は車椅子アスリートのサポートなどを通じ、「誰もがなりうる脊髄損傷の周知」「回復の希望があることの周知」「パラリンピックに向け、障害者や障害者スポーツへの関心喚起」に貢献していきたい考えです。
プロティア・ジャパン 株式会社 (東京都中央区)	登山のための身体作りトレーニング提供、テスト登山・本番の帯同、広報ツール（ウェブ、facebook、フライヤー、動画など）の制作  “アクティブ・エイジング”というメッセージをかけた、多数のプロスポーツ選手が愛用するトレーニングマシン「パワープレート」によるボディケアをはじめ、スキンケア、食ケアの3つの分野を柱に、「非医療の受け皿づくり」を広く社会に提案しています。  自宅トレーニング用マシンや日焼け止めなどスキンケア製品の提供、直営施設でのフライヤー設置
NPO 法人 フルサークルジャパン (千葉県山武郡)	障害を持ってしまったことにより、アウトドアスポーツをしたくても機会・環境がなくあきらめてしまった方々へ、サーフィンやチェアスキーをはじめ様々なアウトドアスポーツの場を提供しています。  会員さまやスポンサー企業への周知活動、元オリンピック体操日本代表・田中光さんなどアスリートへの応援要請
社団法人 国際せきずい損傷 リハビリテーション協会 (東京都江東区)	脊髄損傷者の社会復帰を支援する様々な活動を展開。脊髄損傷者が再歩行を披露する一大イベント「KNOW NO LIMIT」を毎年主催しています。2011年度イベントに参加した杉原さんは、自力歩行を披露するだけでなく車椅子も持ち上げて見せ、「車椅子からの卒業」を鮮烈にアピールしました。  実行委員会メンバーのアレンジ、会員さまへの周知活動、専門家への相談など渉外業務

<本件に関するお問い合わせ先>

ジェイ・ワークアウト株式会社

TEL: 03-5809-9390 MAIL: info@j-workout.com